

核融合エネルギーフォーラム・筑波大学プラズマ研究センター 合同会合
核融合原型炉開発に向けたアクションプラン説明会

核融合エネルギーフォーラム ITER・BA技術推進委員会
ダイバータ研究開発加速戦略方策検討評価WGフォローアップ 会合
筑波大学プラズマ研究センターシンポジウム

日時： 8月3日（木）12:30~18:30（予定） アクションプラン説明会
4日（金）10:00~12:00（予定） 最近のダイバータ関連の研究成果
13:15~17:30（予定） 筑波大学プラズマ研究センターシンポジウム

会場： つくばイノベーションプラザ

プログラム

■ 8月3日（木）

（敬称略）

- | | | |
|-------|--|-------------|
| 12:30 | はじめに（事務連絡）
開会挨拶 | 上田 良夫（大阪大学） |
| 12:40 | 1. 核融合研究開発施策の現状と今後について | 野田 孝夫（文科省） |
| 13:00 | 2. 原型炉開発に向けたアクションプラン | |
| | 1) 原型炉開発総合戦略TF（全体） | 竹永 秀信（量研機構） |
| | 2) 核融合エネルギーフォーラム（ダイバータ分野） | 上田 良夫（大阪大学） |
| | 3) 討論Ⅰ | |
| 14:00 | 3. 原型炉設計合同特別チームと同ダイバータ物理検討WGの活動状況 | 朝倉 伸幸（量研機構） |
| 14:20 | 4. ダイバータ及び関連分野の研究開発課題と連携 | |
| | 1) 原型炉ダイバータに向けた銅合金開発 | 笠田 竜太（京都大学） |
| | 2) ダイバータ機器開発 | 鈴木 哲（量研機構） |
| | 3) ブランケット開発 | 小西 哲之（京都大学） |
| | 4) 核融合炉材料開発 | 木村 晃彦（京都大学） |
| | 5) シミュレーション開発 | 矢木 雅敏（量研機構） |
| | 6) 討論Ⅱ | |
| | 6-1) コメント：先進ダイバータとタングステンダイバータの課題 | 嶋田 道也（量研機構） |
| 16:25 | 休憩 | |
| 16:40 | 5. ダイバータ開発に関わる国内外の最近の動向 | |
| | 1) LHD 重水素実験の成果と将来計画 | 本島 巖（核融合研） |
| | 2) JT-60SA 研究計画 | 仲野 友英（量研機構） |
| | 3) ITER 研究計画 | 竹永 秀信（量研機構） |
| | 4) 定常高密度プラズマ装置計画 | 坂本 瑞樹（筑波大学） |
| | 5) 討論Ⅲ（ダイバータ分野アクションプランに向けた総括討論と意見集約など） | |
| 18:30 | 閉会（事務連絡） | |

■ 8月4日(金)

事務連絡

10:00 6. 最近のダイバータ関連の研究成果

1) ITPA 活動状況	
・プラズマ壁相互作用 1	伊庭野健造 (大阪大学)
・プラズマ壁相互作用 2	増崎 貴 (核融合研)
・周辺プラズマ物理	仲野 友英 (量研機構)
2) JT-60SA 向けミリメートル級厚さタングステンコーティングへの熱負荷試験	福本 正勝 (量研機構)
3) 原型炉に relevant な粒子輸送の研究指標	松田慎三郎 (東工大)
4) ホットラボ内直線型プラズマ装置における照射損傷試料の重水素吸蔵研究	矢嶋 美幸 (核融合研)
5) 討論IV	

12:00 昼食休憩

13:15 筑波大学プラズマ研究センターシンポジウム

1) 線形ダイバータ模擬装置における非接触プラズマ計測と物理研究の進展	大野 哲靖 (名古屋大学)
2) 筑波大学プラズマ研究センターにおける 双方向型共同研究の成果概要と研究計画	中嶋 洋輔 (筑波大学)
3) 高密度ダイバータプラズマ模擬に向けたパイロット装置の開発	江角 直道 (筑波大学)
4) GAMMA 10/PDX における端損失イオン束の制御と 高密度直線プラズマのイオン加熱に向けた取り組み	池添 竜也 (筑波大学)
5) GAMMA 10/PDX におけるダイバータ模擬実験の進展	飯島 貴朗 (筑波大学)
6) 磁場構造の非一様性の効果に着目したダイバータプラズマシミュレーション	東郷 訓 (筑波大学)

15:25 休憩

7) 高性能磁場閉じ込めプラズマを目指した粒子補給法の検討 (開放端磁場プラズマにおける高密度化に向けた粒子供給と中性粒子挙動)	小林 進二 (京都大学)
8) GAMMA 10/PDX ダイバータ模擬実験用マイクロ波イメージング干渉計 アンテナアレイ開発の進捗	桑原 大介 (農工大)
9) GAMMA 10/PDX におけるトムソン散乱計測システムの進展	吉川 正志 (筑波大学)
10) 電子サイクロトロン高密度プラズマ加熱連携研究における 2周波数(28/35GHz、14/21GHz) ジャイロトロンの開発と ECH 実験への適用	假家 強 (筑波大学)
11) 総合討論	

17:30 閉会(事務連絡)